



防犯ふくおか

発行編集

公益社団法人 福岡県防犯協会連合会
 〒812-8576 福岡市博多区東公園7番7号
 福岡県警察本部内
 TEL 092(633)3221
 ホームページ <https://fukuboren.com>
 印刷 株式会社ダイケン
 TEL 092(738)8825



悪質商法の被害が発生しています



トイレの水回りトラブル
など

レスキューサービス
に関する悪質商法



- ・ 広告に表示してある安価な料金をうのみにしない
- ・ 地元の工務店や管工事組合など、信頼できる事業者を確保しておく
- ・ 料金やサービス内容に納得出来ない場合は、その場で支払いをしない

貴金属やブランド品の買取
など

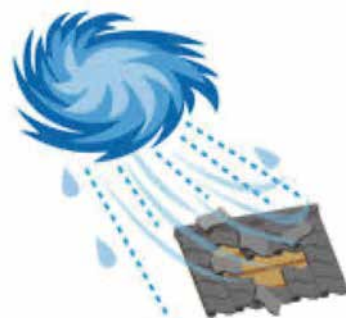
訪問購入のトラブル
に関する悪質商法



- ・ 突然、訪問してきた業者は家に入れない
- ・ 業者から電話が掛かってきても安易に訪問を承諾しない
- ・ 訪問を承諾する場合は、一人で対応しない、絶対に目を離さない

自然災害による屋根瓦の修理
など

豪雨災害への便乗
に関する悪質商法



- ・ 自分で保険会社等に連絡、支払対象か確認する
- ・ 修理が必要な場合でも慌てずに複数の業者から見積もりを取って比較する
- ・ 家族や周囲の方などに相談して、十分に契約を検討する

上記のような悪質商法については、クーリング・オフの対象となる場合があります。望んでいない契約をしてしまった場合は、書面又は電磁的方法（Eメールなど）により業者に通知しましょう。

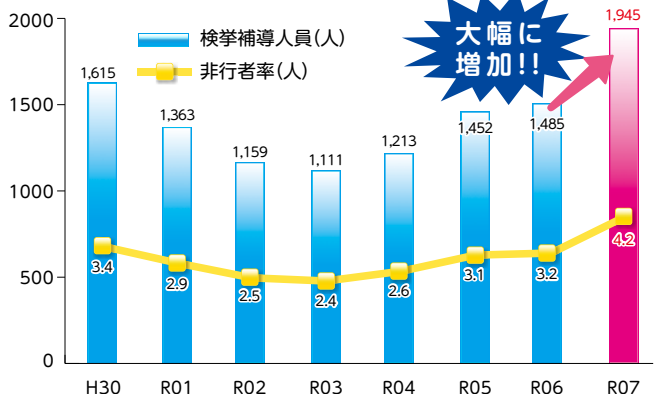
困ったときは一人で悩まずに、お近くの警察署または消費生活センター（消費者ホットライン☎188（いやや））までご相談ください。

福岡県警察本部生活経済課

マンネリ防止 潜む危険は 日々変化

福岡県の少年非行情勢

令和7年中の刑法犯検挙補導人員



※ 非行者率は、10歳から19歳までの少年人口1,000人当たりの検挙補導人員をいいます。

- 刑法犯少年の検挙補導人員は4年連続で増加
令和7年は前年に比べ+460人と大幅に増加、ほとんどの罪種が増加しており
窃盗犯が1,039人で全体の53.4%を占め、前年に比べ257人増加
特に詐欺等の知能犯は前年比32人増加し、2倍以上に
- 学職別では
高校生が663人と最も多く、次いで中学生が614人で、中・高校生が全体の65.7%
前年に比べ中学生が+216人、高校生が+187人と大幅に増加

中学生・高校生の非行が増えています! 地域・社会全体で少年を非行や犯罪被害から守りましょう

少年を「使い捨て」にする「闇バイト」の現実

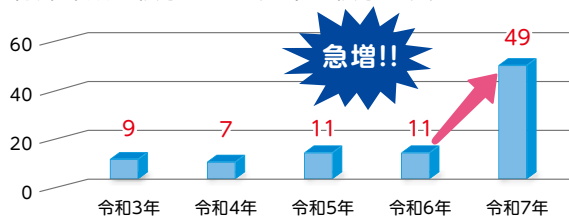
SNSで「高額報酬」等と投稿し、応募した人に特殊詐欺などの犯罪をさせる行為が横行しています。

令和7年中に特殊詐欺で検挙された少年の検挙人員は49人で、前年と比べると+38人で4倍以上となっており、急激に増加しています!!

また、特殊詐欺の総検挙人員に占める少年の割合は30.8%で、こちらも前年の13.8%と比べると大幅に増えており、憂慮すべき状況です。



●特殊詐欺で検挙された少年の検挙人員●(人)

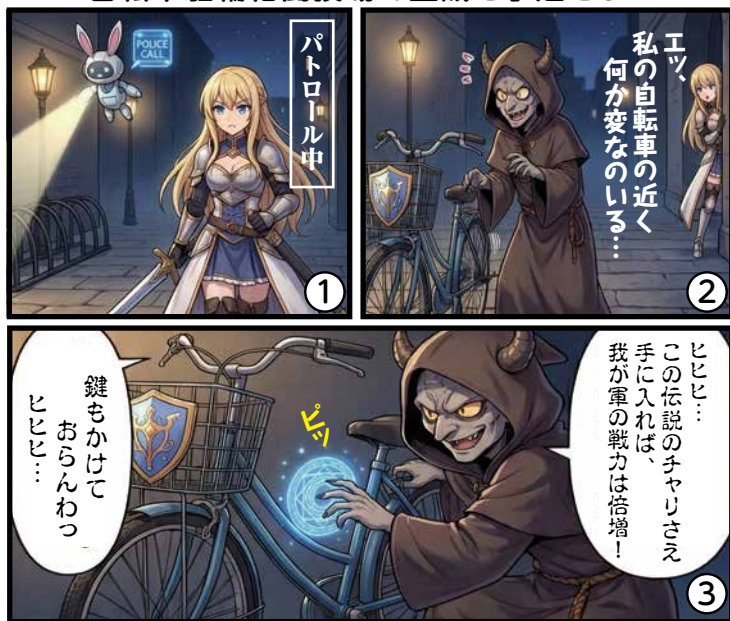


犯罪に加担する前に勇気をもって
周りの信頼できる大人や警察に
相談しましょう!!

～ それ、「バイト」ではなく「犯罪」です!! ～

異世界勇者の街カド戦記

～ 自転車駐輪格闘技場で盗賊を撃退せよ! ～



自転車防犯登録と鍵ふたつで盗難防御力をアップしてね!!
それから運転は交通ルールを守って楽しく安全に!

「情報セキュリティ10大脅威2026」

IPA(独立行政法人情報処理推進機構)は、情報セキュリティの脅威において、昨年、社会的影響が大きかったトピックスを「情報セキュリティ10大脅威2026」として発表しました。

順位	組織向け脅威	前年順位
1位	ランサム攻撃による被害	1(→)
2位	サプライチェーンや委託先を狙った攻撃	2(→)
3位	AIの利用をめぐるサイバーリスク	初
4位	システムの脆弱性を悪用した攻撃	3(↓)
5位	機密情報等を狙った標的型攻撃	5(→)
6位	地政学的リスクに起因するサイバー攻撃	7(↑)
7位	内部不正による情報漏えい等	4(↓)
8位	リモートワーク等の環境や仕組みを狙った攻撃	6(↓)
9位	DDoS攻撃(分散型サービス妨害攻撃)	8(↓)
10位	ビジネスメール詐欺	9(↓)

脅威の1位は「ランサム攻撃による被害」となっています。(11年連続ランクイン)

また、「AIの利用をめぐるサイバーリスク」が初めて10大脅威に選ばれました。

「AIの利用をめぐるサイバーリスク」で想定されるものとして、

- AIに対する不十分な理解に起因する意図しない情報漏えいや他社の権利侵害といった問題
- AIが加工・生成した結果を十分に検証せず鵜呑みにすることにより生じる問題
- AIの悪用によるサイバー攻撃の容易化、手口の巧妙化

などが挙げられていますので最新の手口に関する情報を確認し、手口の変化に応じた対策を講じましょう。

※出典：【IPA プレス発表「情報セキュリティ10大脅威2026」を決定】を基に作成

<https://www.ipa.go.jp/pressrelease/2025/press20260129.html>



【県警HP】



【県警公式X】

- ◆ 福岡県警察本部サイバー犯罪対策課では、最新のサイバー犯罪の手口や対策等を、ホームページやX(旧Twitter)に掲載していますのでぜひご覧ください。

地域のかで
頑張っています

防犯ボランティア団体の紹介(ペンリレー)



◆三宅校区自治協議会◆

(活動地区～福岡市南区三宅校区)

私達は、三宅校区で安全安心まちづくりの一環として、平成28年5月から運用を開始し、現在は69名で活動しています。

主な活動は、

- 週3回の下校時間帯における定例パトロール
- 小学校入学時期から5月末まで登校時の臨時パトロール
- 校区行事のお手伝いや有事の際の青パトを活用した注意喚起

などを行っています。活動中のエピソードとして

- 施設から裸足で抜け出していた高齢者を保護
- 困って泣いていた女の子の話を聞き自宅への送り届け
- 猿出没情報を受け、校区内を車載マイクでの呼びかけ

など、地域住民に寄り添った活動を行っています。

地域の安全安心を守ることを目標に、これからも見守り活動を実施していきます。



◆竹末校区生活安全パトロール隊◆

(活動地区～八幡西区竹末・若葉自治区)

私達の団体は、地域の安全・安心な生活を守るため、約22年前に発足し、現在の構成員は、約35名です。

主な活動として、

- 毎月2回、午後7時から午後8時の間、徒歩パトロール
- 犯罪発生時に、発生時間帯・場所を捉えたパトロール
- 全市一斉パトロール・年末警戒パトロールなどを行っています。

構成員は、元気に拍子木を鳴らして「戸締り用心・火の用心」と発声しながらパトロールしており、地域住民との挨拶や交流が生まれています。

これからも住民の防犯意識の高揚に努め、地域の安全・安心のため、精力的に活動していきたいと思ひます。

